

障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして



## 令和2年4月から福祉サービス事業所ピースは 多機能型（生活介護、就労継続支援B型）事業所としてスタートしました



6月 ありがとうファームさんでイチゴ狩り



4月 神岡山田川でお花見



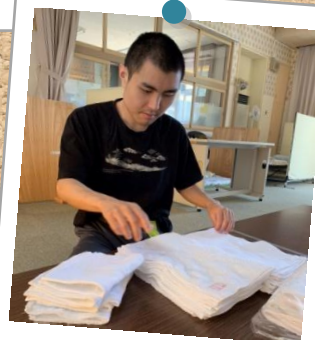
7月 ジャガイモほり



7月 コロナ対策をしながら流しそうめん



8月 トウモロコシの収穫



おしぼりたたみ

コロナ禍での新事業の開始となりましたが、休業をすることなく感染対策を行いながら元気に過ごしていますが、コロナに負けず、季節感を感じながら活動をしている様子をお知らせします。

## 就労支援にも

## 力を入れていきます

就労継続支援B型では、一般就労をめざしていただける方、作業をしたい方を対象に様々な作業に取り組んでいます。コロナ禍の中で一時中断する作業もありましたが、新たな作業を創出し安定した作業量を提供することができました。一人ひとりの体力や能力等に合わせてそれぞれの作業に励んでみます。

- アルミ缶回収 アルミ缶つぶし
- 英字新聞バック リサイクル封筒作り
- 雑巾作り
- ほかし袋詰め作業
- 神岡町ことばの教室 船津座トイシ清掃
- 神岡町衣類回収受付作業
- 古川町区長会 配布文書確認作業
- 民間企業からの受託作業  
(シール貼り、ゴム通し、スタンプ押し等)

神岡町リサイクル衣料  
回収受付の様子



中 日 乗 昇 月 日

2020年(令和2年)10月1日(木曜日)

一部の事務作業を  
障害者施設へ委託  
飛騨市

飛騨市は、千日、同市古川町の住民に配布する文書の部数を確認する作業について、障害者施設への委託を始めた。

月に二回、区長を通じて町内各戸に配布するチラシや広報紙などが、過不足なく準備されているか確認する。市はこれまで障害者施設に清掃などを委託してきたが、事務作業を委託するのは初めて。

いずれもNPO法人の飛騨市障がいのある人を支える会(同市神岡町)、はたらくねっと(高山市)の二団体が委託を受け、それぞれ隔月で担当する。委託料は、一人当たり時給八百八十円、毎回二人で二時間程度

書類の仕分けをする施設の利用者ら。飛騨市役所で

初回の三十日は、支える会の施設に通う障害者ら三人が作業。書類の部数や対象地区などに誤りがないかチェックしていた。同会職員の本谷裕司さん(左)は「確実性が求められる作業をこなすことで、次の作業への自信にもなると思う」と話した。(瀬田貴嗣)

7月10月には飛騨吉城特別支援学校から高等部の現場実習の受け入れを行いました。また、10月には市内中学校から職場体験の受け入れも行いました。

ピースで何をしているの?と試してみえる方、いつでもお気軽に見学にいらしてください。

TEL / FAX 0578(82)1559

## 送迎も充実しています

神岡方面、古川・国府方面の送迎を1日8便出しています。ドアツードアで、家の前まで送迎をしています。



## 給食も週3回提供しています

豊富なメニューと栄養のバランスの取れた給食を毎週月・水・金曜日に提供しています。



障がいのある人もない人も安心して暮らせるまちづくりをめざして

障がいのある人もない人も 安心して暮らせるまちづくり

# みんなでイキイキ！ 楽しみながら健康増進！



令和2年度飛騨市やさしいまちづくり事業では、地域の方と障がいのある方の地域交流を目的に、

『誰もが生涯現役として活躍できる場づくり』

『閉じこもりがちな高齢者の集う場と健康増進の場づくり』

を目指して活動をしています。

コロナで4月からのスタートはできませんでしたが、10月に入り感染症対策をしながら行いました。

第1回の前半はみんなで絵手紙の先生のご指導をいただきながら、秋の味覚を題材に一人ひとり自分の見だまま感じたままに表現をしました。後半はコロナなどの感染症に負けない体づくりと題して健康の話聞きながら整膚を通じて顔のセルフマッサージを学びました。

第2回は、前半は流行のハロウィンを楽しみましたと題して、お菓子をを入れる袋づくりを行いました。新聞で作った袋にカボチャやハロウィンのイラストを貼ったり、色を塗ったりしました。一人ひとりのセンスが光る世界で一つだけの袋ができました。後半は寒さに負けない健康作りの話を聞いて、この冬は風邪をひかないよう体温を高めるポイントを学びました。



80代のご近所に住んでみえる皆さんが参加してください、「声をかけてもらえてうれしかった。」

「一人で家にもテレビを見ているだけだから、ここへ来るというんなことができて楽しい」

「また来たい」と言ってみえました。

ピースが地域の皆さんにとっても、居心地のよい場所になっていくことを願っています。

# 寄付ありがとうございました

(令和1年11月から令和2年10月まで 団体名のみ記載)

- 瑞岸寺益世会様 75,738 円
- 東日本チャリティ実行委員会様 50,000 円
- NPO 法人 V ネット様  
 アクリル板 卓上型 7 台  
 キャスター型 12 台

皆様からいただいた大切な寄付金で防災ずきん、備蓄用水・食料等、防災用品を購入しました。

V ネット様からたくさんご寄付いただいたアクリル板のおかげで作業や食事等を安心安全の中で行えるようになりました。

個人の方からも、たくさんのご寄付、物品をいただきました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

また、日頃はアルミ缶、エコキャップ、ベルマーク回収や、カレンダー等のご協力に感謝申し上げます。

今年度 (11月10日現在)  
ベルマーク回収量  
88,895 点

飛騨吉城特別支援学校へ学校備品 88,895 円分を寄付します。

今年度 (11月10日現在)  
エコキャップ回収量  
988 kg

ポリオワクチン 248 人分として NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付します。

# ピースの仲間も

## 社会貢献活動をしています

障がいがあっても、「社会の役に立てること」「誰かに喜ばれること」をベルマークやエコキャップの仕分け作業を通して行っています。その人ができることを通して社会の役割を担いながら自己肯定感、自己有用感を育んでいきます。

ベルマーク作業の様子



アクリル板を設置して作業



# 会費・寄付のお願い

NPO 法人飛騨市障がいのある人を支える会の第6期(令和1年10月1日～令和2年9月30日)の事業が会員の皆様はじめ地域の皆様のご理解ご協力のおかげで無事に終わりました。支える会の運営は、寄附金や会員の皆様の会費収入によって支

# 新規会員大募集!

正会員 (総会の議決権があります) 年 三千元  
賛助会員 一口 千円

【お問い合わせ】 NPO 法人飛騨市障がいのある人を支える会

〒506-1156 飛騨市神岡町山田2358番地2

TEL/FAX 0578-82-1559 理事長: 奈木 桂子 090-4227-3610